

紀のわ

ki no wa

Vol. 10
2026 February

2



— 特集 —

「キウイフルーツ協議会」発足 | 04 |

● 新連載役員コラム「協同」 | 05 | ● 持田香織さんに特産品贈呈 | 05 |

農人

その農産物、
この人あり

Vol.
08

AGURI-BITO

祖父母の代から続くイチゴ農家を一人で切り盛りし、
和歌山県オリジナル品種「まりひめ」を、地場ブランド
「くろしお苺」として出荷している那智勝浦町の畑下由美
さん。苗の病気の発生を経験して以降、徹底した栽培管理
と工夫を重ね、消費者からの「おいしい」の声を力に変え、
高品質なイチゴを届けるために日々努力を続けている。

病気に負けない苗作りに挑戦！
ブランド「くろしお苺」を栽培

イチゴ生産者

みくまの地域「那智勝浦町」

くろしお苺生産販売組合 組合長

畑下 由美さん (50歳)

畑下さんは県外の工業大学に

進学し、卒業後は土木建設の現場監督として働いた。その後、和歌山に戻り、知人から「役場が過疎対策事業の支援員を募集している」との話を聞き、臨時職員として勤めることになった。支援員として国の補助事業に携わり、地域の村おこし活動に尽力。この期間、お米や野菜、イチゴの農家と交流したことが後のイチゴ農家転身へとつながる。

「実家の農業は手伝い程度で、継ぐつもりはあまりなかったが、役場での経験があり意欲が芽生えた」と畑下さん。退職後、旧JAみくまの運営のトレーニングファームで1年間、野菜やイチゴの栽培について研修を受け、

本格的に農業の道へ進んだ。

就農して7年目になる畑下さんは、県のオリジナル品種である「まりひめ」をハウス2棟の4アールで栽培。みくまの地域では、地場ブランド「くろしお苺」として出荷している。果実は大粒で、完熟すると果肉の中まで赤くなり、ほどよい酸味と強い甘み特徴だ。

畑下さんの家は、祖父母の代から続くイチゴ農家だが、母親が高齢になったため、一人で切り盛りしている。収穫からパック詰めまで行い、週に3日JAへ出荷するのが定例だが、最盛期には市場休み以外は出荷し、作業に追われる日々。「一人で作業は複数人いた時と比べて進み具合が遅くなり、厳しさも感じているが、今のところ何とかやりくりできている」と話す。イチゴ栽培で最も大変だと感じたのは、苗づくりの際に病気が発生した時だったという。病気があつという間に広がり、止めることができず、当時は「収入がゼロになるのではないか」

と絶望感を味わった。

この経験から病気の怖さを痛感し、苗の周囲に草を生やさない、消毒を徹底する、風通しを良くするなど、可能な限りの対策を講じるようになった。畑下さんは、「病気は出るのが当たり前。前後の対応が大切」と考え、日々細心の注意を払うよう努めている。

さらに秀品率を上げるため、水やりの方法を工夫している。以前は週に1回程度まとめて灌水していたが、現在は1回当たりの水量を減らし、回数を増やしてこまめに行っている。収穫は12月中下旬からスタートし、ピークは3月から4月。年内出荷が高単価をとれるため、できるだけ前進出荷するのが理想だが、温暖化により生育は遅れ気味。そのため、5月までの収穫期は、品質の高位平準化と数量の安定出荷を目指している。1年を通して作業に追われる中、畑下さんは「生産組合の組合員同士で、情報交換や意見を交わすことが息抜きになってい

る」という。一緒に外食に出かけることや、お互いの園地を訪問し、「うちはこうしているよ」とアドバイスを出し合うなど技術を共有しながら、相互にレベルアップを図っている。

甘さ十分に完熟させてから出荷する「くろしお苺」は、地元販売が主となるため、「消費者の声も直接届きやすく、励みにもなる」と畑下さん。消費者の喜ぶ顔を思い浮かべながら、毎日おいしいイチゴ作りにまい進している。



大切に育てられ真っ赤に実った「くろしお苺」

初の県域品目別協議会誕生！

「キウイフルーツ協議会」発足

J Aわかやま初となる県域品目別組織「キウイフルーツ協議会」が12月17日に発足しました。スケールメリットを生かし、県産キウイフルーツの品質統一とブランド力強化を進め、産地利益の最大化を目指します。

J Aでは、県域の一元・一体販売に向け、主要12品目の県域組織の設立を合併協議で申し合わせていました。中でもキウイフルーツを県域一元販売移行のモデル品目と位置づけ、検討・協議を進めてい

ました。

県内のキウイ生産量は2463ト（令和6年度実績）で、主産地はながみね、紀の里、紀北、ありだ地域。協議会の発足に伴い、さらに生産を振興していく方針です。

この日の「第1回キウイフルーツ協議会」はJ Aビルで開かれ、各地域の部会の代表者とJ A役職員ら27人が出席。生産方針や荷受け基準、出荷資材等の統一や、消費宣伝の在り方について協議されました。

事務局から協議会設立の目的や、一元・一体販売について説明。出席者からは「他県の生産者との意見交換や交流を行いたい」などの意見がありました。

協議会の会長に選任された紀の里地域本部の風呂谷史郎さんは「キウイフルーツが初の協議会設立となった。他品



県内初の県域品目別協議会として誕生したキウイフルーツ協議会

目のモデルケースとなれるよう、心を一つに、先頭に立ちまい進していこう」と意気込みを述べました。

今後の活動としては、令和8年1月19日に大果大阪青果株式会社の実売り場で開かれる「国産キウイの日」のイベントへの参加等を予定しています。

紀北・西川亮慈さんが最優秀賞

近畿地区J A青年大会「青年の主張」で

J Aわかやま青年部紀北地域本部の西川亮慈さん（32）は12月10日、奈良市で開かれた近畿地区J A青年大会（J A全青協主催）の「青年の主張」部門に県代表として出場し、最優秀賞を受賞しました。

「青年の主張」は日ごろの農業や青年部活動の考えなどを述べるもので、西川さんは「私はこんな農家です」と題し発表。持病の制約を受けながらも青年部での交流を通して視野を広げ、有機農業と慣行農業を両立させた



発表する西川さん

印南町でクビアカカミキリ被害確認

発見時は県やJ Aに通報を

和歌山県は12月10日、印南町の梅園でクビアカカミキリカミキリの被害を確認しました。同町内での確認は初めて。県とJ Aわかやまは警戒監視の強化と発見時の通報を呼びかけています。

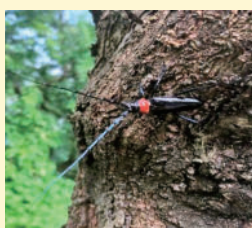
クビアカカミキリはサクラや梅、桃、スモモ等に発生し、木を枯死させる害虫。幼虫は生

木の内部を摂食し、フラス（木くずや糞）を排出します。（写真左）

これまで発見されていない地域でも見つかることがあるため、周辺の樹木で被害が発生していないか確認をお願いします。お問い合わせは営農指導員まで。



被害（フラス）の様子



クビアカカミキリ（成虫）

「そのままフェス」出演に感謝込め 持田香織さんに特産品贈呈



坂東組合長から花束を受け取り笑顔の持田さん

J A わかやま主催
「わかやま、そのまま
フェス2025」(11
月30日、和歌山城西の
丸広場)のスペシャルラ
イブに出演した、歌手
の持田香織さんに感謝
を込め、J A から梅干
しやミカンなどの特産
品を贈りました。

同フェスは県産農産
物の魅力を県民にPR
するため開いた初の大

型イベントで、食や農
のブーースのほか、地元
アーティストらによる
音楽ステージを実施。
持田さんはフィナーレ
を飾り、「静かな夜」
や「Time goes
by」など10曲を
披露し、集まっ
た観客を
魅了し
ました。



J A はお礼として、
県産のバラやスターチ
ス、カスミソウ、ガー
ベラ、ダリアの花束
と、紀州南高梅「三景」、
有田みかん「味一極」、
「わかやま布引だいこ
ん」を贈呈しました。

秋元真夏さんが県産農産物PR

J A タウンのYouTube番組で配信

県産農産物の魅力を
広く発信するため、J
A わかやまは産地直送
通販サイト「J A タウ
ン」のYouTube
番組「ゆるふわたいむ」
で、PR活動を展開し
ています。番組の一環
として、J A タウンオ
フィシャルサポーター
の秋元真夏さんが、あ

りだ・紀州・紀の里の
3地域を訪れ、農産物
の魅力をPRしました。
ありだ地域では園地
でミカン収穫体験やA
Q選果場の見学を実施、
FM「ありだっこ」にも
立ち寄り、買い物を楽し
みました。紀州地域
ではスターチスやウスイ
エンドウ、紀の里地域で

はキウイフルーツの園地
を訪れ、それぞれ収穫
や試食を体験しました。
J A わかやま販売部
は「YouTubeで
の発信のため、普段テ
レビを見ない若い世代
にもアピールできたと
思います」と話しました。
番組は、「J A タウ
ン」の公式YouTu
beチャンネル「ゆる
ふわちゃんねる」で配
信中です。

新連載

役員コラム

協同
Cooperation



副組合長
岩上 昌義

01 より信頼されるJ Aへ

J A わかやまとしてスター
トして、早いものでも
うすぐ1年を迎えます。その
間、運営・事業とも組合員の
皆様のご協力・ご支援のおか
げで順調に推移させていただ
いています。

組合員とJ A・組合員と役職
員、また産地と市場、消費
者と信頼関係を構築すること
が最も重要なことだと思っ
ています。

新J Aは県下と広範囲とな
りましたので、より一層の早
期の信頼関係構築が必要です。
そして「J Aは大きく広くなっ
たが、身近になった」「合併
して良かったな」と一日でも
早く、より多くの組合員の皆
様に実感していただけるよう
なJ Aにしたいと思っています。

将来に渡り、農業・J Aに
とって様々な課題があると思
いますが、J A わかやまの組
合員の皆様と役職員が一体と
なれば、必ず乗り越えていけ
ると確信しています。

合併したからとすぐに効果
が出るもの、出ないものがあ
りますが、スピード感を持っ
て取り組んでまいりますので
なお一層のご協力・ご支援を
お願いいたします。

紀のWalker

キノウォーカー

紀南
地域編

紀南地域の
2大特産物である梅とミカン
をモチーフにした双子のマスコット
キャラクター。地元はもちろん、県外
にもPRのため奔走しています。

【ナビゲーター】うめっぴ&みっかっぴ

No.1

農作物販売高

梅

5月上旬の小梅から収穫がスタートし、中旬に「古城(ごじろ)」、下旬から主力の「南高」とリレー出荷が特徴。青果だけでなく、生産者による梅干しの一次加工も盛ん。

梅ジュースや
梅酒、梅干しづくりを
ご家庭で楽しんで
いただきたいです。

梅部会 部会長
中田 善久さん

No.2

農作物販売高

かんきつ

No.3

農作物販売高

花き

トルコギキョ
ウやガーベラ、
カスミソウ、
スターチスが
主力です。

最近
若手農家のモチベ
ーションが高く、負けじ
と頑張っています。

みかん部会
部会長
井潤 正晴さん

温州ミカンの紀南ブランド「天」「木
熟201」は市場から大人気。中晩柑
はポンカンや清見、不知火、せとか
など種類が豊富です。



副本部長 副本部長 地域副本部長 副本部長
木下 道禎 笠松 秀之 大炭 敦史 佐武 範彦

地域副本部長 大炭 敦史

紀南地域は田辺市、上富田町、白浜町、すさみ町、串本町を管内に有します。組合員数は5万人超とJAわかやま最多を誇り、農業では梅とミカンを主軸に、花きやスモモなど多品目に及びます。田辺市は熊野三山への主要な参詣道である中辺路と大辺路の分岐点にあたり、市街地にある「闘雞神社」、中辺路へと向かう塩見峠越ルート上の「長尾坂」、「塩見峠越」などが世界遺産に登録されています。また「みなべ・田辺の梅システム」は世界農業遺産認定10周年を迎えました。温泉や海水浴場など人気の観光地・白浜や、本州最南端の串本など、風光明媚な紀南地域にぜひお越しください。



★紀南地域本部 TEL0739-23-3450
田辺市朝日ヶ丘24-17

- ①中央支店 TEL0739-22-3700
田辺市秋津町7-1
- ②芳養谷支店 TEL0739-22-1832
田辺市中芳養1102-1
- ③上秋津支店 TEL0739-35-0121
田辺市上秋津2010-3
- ④三栖支店 TEL0739-34-0001
田辺市中三栖770
- ⑤新庄支店 TEL0739-22-6184
田辺市新庄町672
- ⑥新万支店 TEL0739-24-7274
田辺市新万4-4

- ⑦田辺支店 TEL0739-22-3994
田辺市新南町203
- ⑧白浜支店 TEL0739-42-3467
西牟婁郡白浜町925-3
- ⑨とんだ支店 TEL0739-45-0323
西牟婁郡白浜町栄723-3
- ⑩朝来支店 TEL0739-47-1370
西牟婁郡上富田町朝来1401-1
- ⑪口熊野支店 TEL0739-47-3111
西牟婁郡上富田町岩田2430-1
- ⑫鮎川支店 TEL0739-49-0224
田辺市鮎川597-5

- ⑬すさみ支店 TEL0739-55-2006
西牟婁郡すさみ町周参見3938
- ⑭串本支店 TEL0735-62-3333
東牟婁郡串本町串本1735-77
- ⑮栗栖川出張所 TEL0739-64-0300
田辺市中辺路町栗栖川176-1
- ⑯日置出張所 TEL0739-52-2225
西牟婁郡白浜町日置21
- ⑰中央営農経済センター TEL0739-22-3800
田辺市秋津町752-1
- ⑱富田川営農経済センター TEL0739-47-1376
西牟婁郡上富田町岩田454-5



牡羊座
3/21~4/19

全体運 気を引き締めて。途中で中断することになっても慌てないように。落ち着いて対処すれば切り抜けられます
健康運 血行を良くする運動を。ふくらはぎをもむもの◎ 幸運の食べ物 カリフラワー



不二家ブース

店内に販売ブースを設置。昨年は梅を使ったケーキのコラボ企画を行いました。



サツマイモ販売

2月ごろまで毎週土日に、店頭で焼き芋を販売。甘くておいしいと大好評です。

ファーマーズマーケット紀菜柑

一年中地場産のかんきつ類が揃うほか、多種多様な花も人気。JA製造の梅加工品もズバリ!

田辺市秋津町752-1 TEL.0739-81-0831
[9:00~18:00] (1月・2月は17:30まで)
※時期により営業時間は異なります
年中無休(12/31~1/4は除く)

ドライフルーツ

紀州南高梅、みかん、レモン、すもも、はっさく、清見オレンジの6種類を製造。



看板デザインは、地元高校生が考えてくれたんだよ!

研究開発室では梅加工品の品質管理や商品開発を行っているよ!



梅加工場

紀南地域には4つの加工場があり、紀州南高梅干しをはじめドライフルーツなどを製造して全国へ販売しています。

紀州南高梅干し

はちみつ、しそ漬、かつお梅、白干し梅など種類も豊富。

地域に貢献



金融移動店舗車

中山間地域の利便性確保や災害時等の事業継続への対応のため運行しています。



Aコープ移動購買車

買い物困難者への食材供給と地域の見守りを目的に、Aコープから移動購買車を7台運行しています。

紀南地域ならではの産品



すさみのレタス

日本におけるレタス栽培の発祥地がすさみ町と言われています。



小梅「パープルクィーン」

梅ジュースにするとピンク色の果汁が出ます。



なんたん蜜姫

串本町で育成されたブランドサツマイモ。ねっとり系の高糖度品種です。



スモモ「シンジョウ」

田辺市新庄町発祥の高糖度スモモです。



ぜひご賞味ください!



天神崎

田辺市天神崎

市民の寄付で自然を保全する「ナショナル・トラスト運動」の先駆けとしても知られています。条件が揃うと、ウユニ塩湖のような景色が見られる話題のスポットでもあります。



熊野古道 滝尻王子

田辺市中辺路町栗川859

富田川と石船川が合流する地点にあり、熊野九十九王子社のうち最も重要視された社格の高い五体王子社にも数えられます。向かいには「熊野古道館」があり、熊野古道をはじめ、中辺路町の観光案内や歴史紹介を兼ねた無料の休憩施設となっています。

世界遺産を歩こう!

オススメ観光スポット!!



わかやま
地域

女性大学で野菜の収穫体験 JAファームと連携し学びを深める



わかやま地域本部第13期女性大学M's Ring（エムズリング）第2回講座は、（株）JAファームわかやまが運営する圃場でブロッコリーの収穫体験を行いました。

同社の山本専務取締役が講師を務め、おいしいブロッコリーの見分け方や収穫するときなどを説明。「採れたてを味わって、日本の農業を応援してほしい」と国産国産を啓発しました。初めて野菜包丁を使う受講生は、作業に苦戦しつつも収穫を楽しみ「採った後に葉を落とす工程などが多く、農家の苦労を知った。家族で大切に食べたい」と笑顔を見せていました。

ながみね
地域

加齢による自動車運転の化学変化 「男の道楽塾」で交通安全教室

ながみね地域本部の「男の道楽塾」は11月18日、白浜町のクアハウス白浜で「自動車運転交通安全教室」を開きました。

和歌山県農協福祉協会の協力のもと、加齢に伴う身体的・認知的变化による自動車運転の講義や、理学・作業療法士による体力測定・認知能力測定を実施。自動ブレーキアシスト（衝突回避）も実際に体験しました。

塾生は「高齢者による自動車事故のニュースを見るたびに心配になる。この教室で自分の弱点や欠点が分かった」と話しました。今後も塾生の生活のためになる講義を行っていきます。



紀の里
地域

紀の川市の山名純一さんが受賞 令和7年度農林水産業賞



JAわかやま紀の里地域本部管内、紀の川市の山名純一さん（写真⑤）が和歌山県主催「令和7年度農林水産業賞」農業部門を受賞しました。

山名さんは、JA職員として営農関係に携わり、退職後は「旧JA紀の里」の代表理事専務を務め、現在は農業に従事しています。

この度の表彰は、落葉果樹の栽培技術の普及や生産組織を統一するなど、農家の経営安定に取り組み、「あら川の桃一産地の担い手育成を目的に開いた「あら川の桃部会トレーニングファーム」の設立に尽力し地域農業の振興に貢献したことが讃えられました。おめでとうございます。

紀北
地域

来店者1000万人達成！ やっちゃん広場で記念セレモニー

ファーマーズマーケット「やっちゃん広場」の来店者数（レジ通過数）が12月5日、1000万人に達しました。記念セレモニーを開き、1000万人目にレジを同時に通過した来店者3組に記念品を贈りました。

紀北地域本部の小倉新本部長とやっちゃん広場協力運営委員会の井上典至委員長から、管内で生産された柿「富有」1箱を手渡し、日頃の利用への感謝を伝えました。節目となる1000万人目となった来店者は「1000万人目と聞いて驚いた。普段から利用しているのでうれしい」と笑顔を見せました。



双子座
5/21～6/21



全体運 流れが変わります。長い目で見て判断していきましょう。最初は大変でも目的にかなったものを選択して開運
健康運 ウィンタースポーツを楽しんで。筋トレも吉
幸運の食べ物 フキのとう

ありだ
地域

健康維持や仲間づくりを スマイルウォークに12人



健康維持と体力向上を図るとともに、仲間づくりや生きがいのある暮らしを提供しようと、ありだ地域本部は12月11日、田辺市の新庄総合公園で、健康ウォーク講座「スマイルウォーク」を実施しました。募集して集まった参加者12人は、心地よい空の下、公園内のウォーキングコース約2.7キロ歩き汗を流しました。

ウォーキングの後は白浜町の保養施設クアハウス白浜へ移動し、InBody測定や健康運動指導士による「座ってできる健康講座」を受講。自分の体の状態を確認しつつ、日常で取り入れやすい運動方法を学びました。

紀州
地域

お正月の縁起物ズバイを出荷 品質良好！関西などの市場へ

日本一の梅産地である紀州地域本部では、令和7年産のズバイを出荷しました。ズバイとは梅の剪定枝から規格に沿った枝を約40センチに切り揃えたもので、縁起物（松竹梅の「梅」としてお正月の飾りなどに使用されます。本年産は、すず斑病等の病気が少なかったことや出荷者の選別レベルの向上により品質は良好。出荷量は例年より多く、主に関西圏の市場へ出荷します。

同地域本部では生産者の所得向上や生産物の口入削減による環境配慮にも考慮し、平成28年から出荷を開始。一大産地として確立できるよう、梅生産者に出荷を呼びかけています。



紀南
地域

元ラグビー日本代表選手が講師 「子どもたちに夢を」と特別授業



JA田辺支店は12月8日、トンガ王国出身で日本代表としても活躍した元ラグビー選手のタウファ統悦さんを特別講師に招き、初となる「J☆☆ゆめ授業」を管内の大坊小学校で開きました。アスリート等を招いて実体験に基づく授業を行うことで「夢をもつ大切さ」などを伝えようというラグビー経験のある田野清剛支店長の呼びかけで実現し、JA共済の協力のもと開催。タックルやパス回し体験等を通じて「One for All, All for One」の精神を学んだ児童からは、「諦めないことが大切だと改めてわかりました」といった声が聞かれました。

みくまの
地域

女性会が「こだま祭り」に参加 農産加工品販売やスコップ三味線を披露

JAわかやま女性会みくまの地域は11月30日、田辺市本宮町の「こだま祭り」に参加しました。地元農作物を使用した「ゆずポン酢」や「焼き肉のたれ」をはじめ、熊野牛を使った「牛まぜ飯」などの加工品を販売しました。さらに、SDGsを意識し、Aコープ店舗で回収した使用済み廃油を活用した「廃油石鹸」を含む全9品を出品したところ、販売開始から約2時間で完売するなど、来場者から大好評でした。

特設ステージではスコップ三味線を披露し、会場から大きな拍手と歓声が寄せられるなど、祭りを大いに盛り上げました。



紀南地域本部が金色有功賞受賞 和歌山県赤十字大会で

和歌山県赤十字大会が12月2日、和歌山市の和歌山城ホールで開かれ、赤十字事業の推進に多大な貢献を果たしたとして、JAわかやま紀南地域本部が金色有功賞を受賞しました。授与式では同地域本部の木下禎副本部長が、日本赤十字社名誉副総裁高円宮妃久子殿下から記念品の盾を受け取りました。

本大会は、日本赤十字社和歌山県支部創立130周年、日本赤十字社和歌山医療センター創立120周年、和歌山県赤十字血液センター創立60周年を記念して開かれたもの。紀南地域本

部は長年に渡る社会貢献活動が認められました。

木下副本部長は「今後も地域本部として、可能な範囲で社会貢献活動に寄与していきたい」と話しました。



代表して盾を受け取った木下副本部長

フードバンク和歌山へ寄付 フェスの売上金等約10万円

JAわかやまは12月18日、11月に開いた「わかやま、そのまふエス2025」での売上金等の一部を、フードバンク和歌山に寄付しました。地域貢献の一環として、活動費に役立ててもらいます。

同フェスは、県産農産物ブランド「ココカラ和歌山」をアピールするため企画したもので、農産物販売や音楽イベントなどを開催。

今回寄付したのは、ステージイベントの一つとして行った「模擬競り」でのセリ落とし全額と、農産物販売の売上の一部で、合計10万1600



鈴木事務局長⑥に目録を手渡す 坂東組合長

円。県JAビルで贈呈式を行い、坂東紀好組合長がフードバンク和歌山の鈴木正文事務局長に目録を手渡しました。

世界遺産熊野古道を歩く 郷土料理作りも体験

JAわかやまは12月13日、県内各地の特産物収穫や施設見学などを1年間かけて体験する「ココワカ。ファミリ」の第2回目を開きました。参加者は世界遺産・熊野古道のウォーキングと熊野地方の郷土料理「めはり寿司」作り体験を楽しみました。

熊野古道ウォークでは、語り部による古道沿いの王子社や伝承、草花の紹介を聞きながら、平岩口から熊野本宮大社へと続く小辺路約2.5キロを歩きました。小辺路は熊野三山と高野山を結ぶ街道で、自然と信仰が融合した神聖な雰囲気を感じました。



語り部の案内で熊野古道を歩く参加者

昼食では、JA女性会みくまの地域本部の会員を講師に迎え、めはり寿司作り体験を実施。会員から手ほどきを受け、参加者一人ひとりが作り上げて試食しました。会員による手作り弁当や温かい豚汁もふるまわれ、ウォーキングで疲れた体を癒しました。

参加者の山口佳津さん(64)は「初めて熊野古道を歩いたが、語り部さんの話が興味深く、あつという間だった。自分で作ったでき立てのめはり寿司は格別で、女性会の豚汁もとてもおいしかった」と話しました。



女性会会員とめはり寿司作り

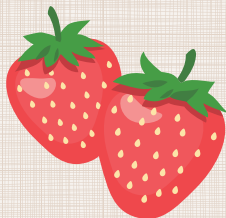
会員による手作り 弁当と豚汁





これ知ってる？

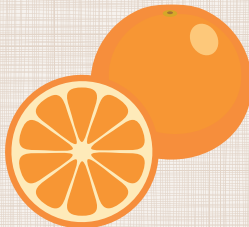
食農クイズ



Q3

イチゴの一番
甘い部分は？

- ① ヘタの近く
- ② 真ん中
- ③ 先端



Q2

ポンカンの特徴で
正しいのは？

- ① 表皮はむきやすく
内袋もやわらかい
- ② 表皮は固いが内袋
はやわらかい
- ③ 表皮はむきやすい
が内袋は固い



Q1

白菜に多く含まれて
いるビタミンはどれ？

- ① ビタミンA
- ② ビタミンK
- ③ ビタミンD

解答

A1 ②

白菜には骨の形成に役立つビタミンK、免疫力を高めるビタミンC、細胞分裂を促進する葉酸などがバランスよく含まれています。生でサラダにしたり、ゆで汁ごと食べられる鍋物がおすすり。

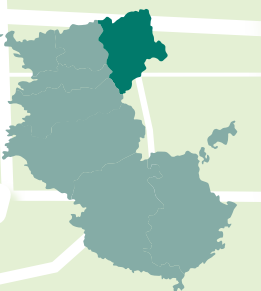
A2 ①

ポンカンは甘みが強く酸味は控えめ、果汁たっぷりで香りもよい中晩柑です。簡単に手でむくことができ、じょうのう(内袋)が薄いため手軽に食べられるのも特徴です。

A3 ③

イチゴは先端部から熟していくため、先端の方に糖が多く蓄積しています。ですので、ヘタ側から先端に向かって食べ進めると、最後の一口がより甘く感じられます。

こんなところ あります



学文路天満宮 [発信元: 紀北地域]

1124年(平安時代)に創建された学文路天満宮。学問の神様である菅原道真公を祀っており、受験シーズンには多くの参拝客が訪れます。絵馬には菅原道真公が描かれており、上部の形が「入」の形をしているのが特徴で、合格して「入る」ことを意味しています。本殿横の「撫で牛」は、受験・病気平癒に靈驗ありとされ、合格祈願・



絵馬・合格御守



学文路天満宮

学業上達には頭を、病気には体の悪い部分を、心を込めてゆつくり撫でると良いと言われています。

学力向上のほか、病除けや厄除け・良縁を授ける神としても知られ、受験生でなくても訪れたい場所です。



撫で牛

所在地 和歌山県橋本市南馬場821-1

アクセス 南海高野線学文路駅から徒歩約20分
京奈和自動車道橋本ICから車で約10分

駐車場 無料駐車場有 お問い合わせ 0736-32-5582



天秤座
9/23~10/23

全体運 好調運。困り事は少しそのままに。状況が好転する兆しです。目標は大きく、心意気を示すと協力者が集まります
健康運 ダンスやラジオ体操などの全身運動がお勧め
幸運の食べ物 ホウレンソウ

家庭de菜園

ゴボウ — 畑を深く耕し長い根を作る —

栽培カレンダー（ゴボウ）

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
冷涼地	春まき		●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中間地	春まき	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	秋まき	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—
暖地	春まき	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	秋まき	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—

● 種まき — 生育 — 収穫（短根種） — 収穫（長根種）

図1 種まき

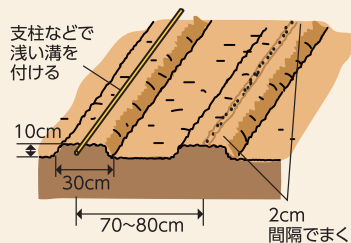


図2 間引き

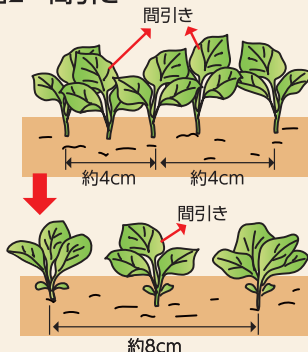
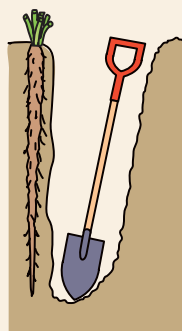


図3 追肥



図4 収穫



根長が70〜80cmになる長根種の「山田早生」（各社）、「柳川理

品種

ゴボウは食物繊維が豊富でカリウムも多い健康野菜です。高温性で、発芽適温は20〜25度、生育適温は20〜30度ですが、生長したゴボウは寒さにも強いですが、長く真っすぐな根を作るためには、下層まで土粒の細かい畑が適しています。春まきと秋まき夏取りができますが、春まきの方が栽培しやすいです。

種まき

（図1）。根が深いので、畑をあらかじめ50〜70cmほど深く耕しておきます。種まきの1カ月前に、1平方m当たり堆肥1kgと苦土石灰100g、1週間前に化成肥料（NPK各成分10%）100gを施し、深さ30cm程度まで耕します。次にベッド幅を30cm程度取り、高さ10cm程度の畝（耕土の浅い畑では高さ20〜30cmの高畝）を作り、中央に園芸用支柱などを押し付け、深さ1cm程度のまき溝を作ります（図1）。

畑の準備

「柳川採種研究会」などが一般的ですが、家庭菜園には30〜50cmの短根種がお薦めです。短根種の「サラダむすめ」（タキイ種苗）、「ダイエット」（サカタのタネ）はサラダにも向いています。

間引き

種皮に発芽抑制物質があるため、水に一晩浸しておきます。まき溝に約2cm間隔で種をまきます。好光性種子のため土は薄くかけ、鎮圧します。発芽まで約2週間かかるため、その間土を乾かさないとが大切です。発芽促進と幼苗の保護のため、不織布によるべたがけが有効です。

追肥

本葉1枚で株間が約4cm間隔になるように間引き、2回目は本葉3、4枚で株間が約8cm間隔になるように間引きします（図2）。

1回目は株定め後、化成肥料を畝の両側に合計で1m当たり20〜30g、2回目は本葉8、9枚の頃に50g施します。いずれも、追肥後は除草を兼ねて中耕・土寄せしておきます（図3）。

病害虫防除

病害虫を出さないようにするには、連作をしない、未熟な堆肥を使わない、周辺を除草することが基本です。なお、ゴボウはセンチュウ被害を受けやすいので、前作のキウリやニンジンなどにセンチュウ被害があった畑では栽培を避けましょう。

収穫

春まきの若ゴボウは、直径が約1cmになる頃から掘り取ります。普通のゴボウは直径約2cmが目安で、発芽から収穫までは短根種で3カ月、長根種で4、5カ月程度です。収穫は、まず葉柄を5〜10cm残して茎葉を刈り取り、スコップで株の片側を深く掘って、根を露出させてから引き抜きます（図4）。冬には霜で茎葉は枯れますが、長根種は越冬し2月ごろまで収穫できます。

俳句・川柳・短歌

俳句

桑島 啓司 選

鈴生りの柿の真下で畑仕事

森 繁子 (和歌山市)

「評」 鈴生りは現在の喜び、畑仕事は将来への期待。現在は体感出来るが、将来は希望であり、豊作を期待するが不安も少し。

秋晴や脈をとりあふ看護生

米澤 俊江 (橋本市)

北窓を塞ぎて昼も灯を点す

谷中 節子 (有田市)

いい事のある気のするや春立つ日

貴多 清治 (和歌山市)

冬空を見上げ思案の農夫かな

清原 一雄 (紀の川市)

ままごとの紙幣代りの柿紅葉

大谷 信光 (和歌山市)

立ち止まり思案顔なる枯端蟬

愛洲 晶代 (白浜町)

湯豆腐の心づくしを掬ひ上げ

上野 敦子 (橋本市)

冬萌やゆつたり動く古時計

梶本 祥子 (和歌山市)

シルバーカー空地の尾花倒しけり

阪口 幸子 (和歌山市)

あの猛暑無かったやうな秋の雲

土井 悦子 (和歌山市)

落葉落葉また落葉城の坂

丸毛 光明 (和歌山市)

境内の名水を飲む神の留守

前 廣 (紀の川市)

ひとり増えまたひとり増え年忘れ

三ツ橋物太 (湯浅町)

短日や一駅ごとに暮れてゆく

奥 元英 (和歌山市)

吹きすさぶ風に抗ひ落葉踏み

下川 成輝 (新宮市)

川柳

木本 朱夏 選

山歩きベルとスプレー常備品

藤井 実 (和歌山市)

「評」 くまモンもクマのプーさんも私たちと仲良しだった。いま街中を徘徊するクマに恐怖と哀れを感じる。クマと人間の共棲は童話の世界だけになってしまった。温暖化の犠牲者と言えるだろう。

熊を呼ぶ庭の柿の木泣いて切る

桑原 久枝 (田辺市)

新世代熊さん山より里がすき

岡崎澄美子 (和歌山市)

家内安全ただ一行の初日記

吉村 幸子 (紀の川市)

寂しさを孫にラインでまぎらわす

吉松 陽子 (有田川町)

検査結果聞きに行くのは大安日

栗山 博成 (和歌山市)

渋柿を剥く手の平に年輪が

森下美知子 (広川町)

ぐつとくる不意に見つけたあんたの字

佐武かすみ (日高川町)

有難や卵かけめし新米で

土岐 敦子 (和歌山市)

七五三足元見ればズック靴

木村 安男 (和歌山市)

婆の背がまた縮んだと孫見上げ

松下 博美 (有田川町)

柚子湯入る今年も終る後十日

下村 十美 (美浜町)

孫娘夫婦喧嘩の調停人

大森 敏宏 (和歌山市)

卒寿過ぎ同じ話しを会おうたび

古屋 陸記 (有田川町)

孫帰省コタツでみかん声弾む

中山 稔 (田辺市)

有難き自分みがきの伊勢の旅

小栗 敏江 (和歌山市)

短歌

井谷 まさみち 選

生垣に不時着したる紙飛行機
こがらし一号さらいてゆけり

山田 千代子 (湯浅町)

「評」 不時着という字に、飛行機事故かと一瞬どきっとする。それが紙飛行機だと知って、なあーんだと安心する。ところが、その紙飛行機をこがらし一号がさらっていった。読む人の心を引きつけつつ、季節感を巧みに表現している。

忠霊碑守りて花筒洗ふ手に
ひらひら桜もみち舞ひ降る

中本八千子 (白浜町)

軒下の寒暖計は氷点下
目から寒さが飛び込んでくる

小田 慶喜 (兵庫県)

お父さん耳遠いねと言う私も
テレビの音量少し上げている

荒井 啓子 (和歌山市)

からからとシルバーカーででかけます
お久しぶりの近所訪問

下村 十美 (美浜町)

寝て過ごす時期が終われば立ち上がる
植えし玉葱人の子の如

西 辯之丞 (紀の川市)

スーパーで買いし葱の根切り置きて
畑で育てるエコな楽しみ

山西 啓子 (印南町)

婚礼の前後に二人の祖母が逝く
二人の祖父は顔さへ知らず

川村さつき (田辺市)

締切りの間近き歌をあたふたと
もしの期待にポストへ落す

花澤 節子 (和歌山市)

ありがどう感謝の気持ちつまでも
母の教えを今も心に

木村 安男 (和歌山市)

「俳句 川柳 短歌」では、皆さまの作品を選句・選歌し、広報誌に掲載します。
俳句・川柳・短歌の区別をご記入のうえ、ハガキまたはメールフォームでご応募ください。

ハガキで応募

〒640-8331 和歌山市美園町5丁目1-1

JAわかやま広報地域対策課「俳句 川柳 短歌」係

※裏面に、俳句・川柳・短歌の区別と作品・住所・氏名・電話番号をご記入ください。



メールフォームで応募

右の二次元バーコードを読み込み、アクセス先のメールフォームにご記入ください。



4月号掲載

(3月発行)

応募メチ

2月10日火
必着



射手座

11/23~12/21

全体運

吉報が無い込んできそうです。あなたにとって良い話になるまで待ってみるといいでしょう。集まりへの参加が吉

健康運

体操教室など、皆と一緒に取り組む運動がおすすめ

幸運の食べ物

カラシナ



黄金のじゅうたん

[撮影者] 宇和 孝仁
[撮影場所] 丹生酒殿神社



Tシャツ整列

[撮影者] makaho
[撮影場所] 白浜町



清水寺の池の鮮やかなモミジ

[撮影者] 森 廉始 [撮影場所] 清水寺



初めてのライトアップ

[撮影者] 堀内 勇 [撮影場所] 杉村公園芝生広場



夜の城

[撮影者] 和田 啓次郎
[撮影場所] 和歌山城



あなたが撮った自慢の写真、
見せてください!

JAわかやま広報誌企画

わかやま映え

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 11月▶12月の写真 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

このコーナーでは、読者の皆様から頂いた和歌山の魅力が詰まった「わかやま映え」写真を紹介していきます。皆さまお気軽にご応募ください。

写真大募集

応募方法

- ☐ Eメールで応募 ※応募専用メールです。
応募用メールアドレス：wakayamabae@gmail.com
- ☐ メールフォームで応募
左下の二次元バーコードを読み込み、アクセス先のメールフォームにご記入、送信してください。
※ 応募の際は右下の二次元バーコードを読み込み、募集要項を必ずご確認ください。



メールフォーム

1~2月の写真を募集します
締め切りは2月20日金です!



募集要項

お問い合わせ先

〒640-8331 和歌山市美園町5丁目1-1
JAわかやま 広報地域対策課「わかやま映え」係
TEL:073-488-5520 (8:30~17:00 土日祝を除く)

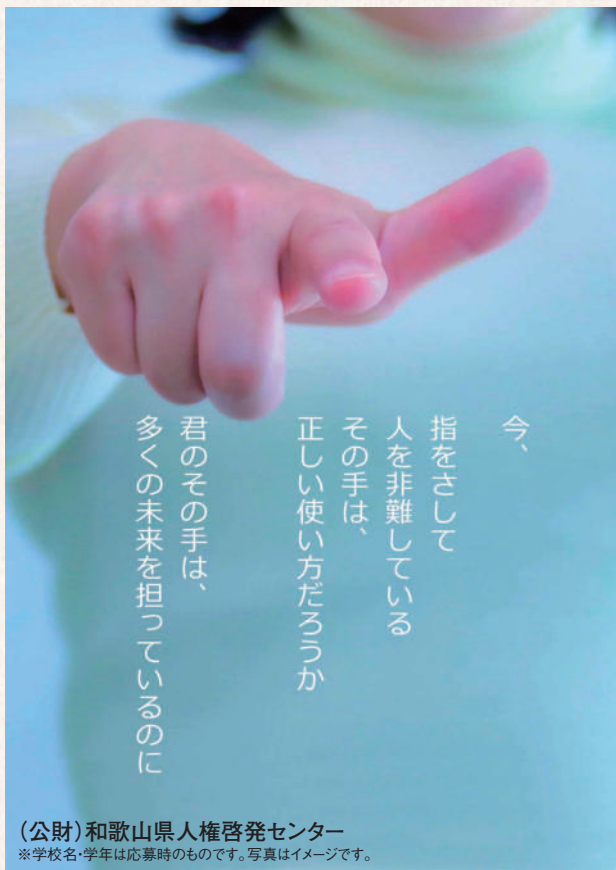


JAわかやまの
インスタにも
掲載するよ

人権の詩

| 2024入賞作品のご紹介 |
理事長賞[中学生の部]

「君の手」
上富田町立上富田中学校 1年
谷口 和聡さん



今、
指をさして
人を非難している
その手は、
正しい使い方だろうか
君のその手は、
多くの未来を担っているのに

(公財)和歌山県人権啓発センター
※学校名・学年は応募時のものです。写真はイメージです。



クロスワードパズルプレゼント

タテ・ヨコのカギを全部解いて、二重枠A→Dの順に並べてできる言葉はなんですか？ 出題●ニコリ

ルール 鍵を解く際、小さい文字(ヤ・ユ・ヨ・ツ等)が含まれる場合は、大きい文字(ヤ・ユ・ヨ・ツ等)として扱います。★【答え】に含まれる場合はどちらで明記いただいても正解とします。

- タテの鍵
- 2 東京にある、昔は電気街、今はポップカルチャーの街
- 5 はたきで払うもの
- 7 い草などで編んだ敷物
- 8 天井や空がある方向
- 9 長さの単位のひとつ。記号はft
- 11 眠くなると下がってきます
- 12 外湯めぐりで知られる兵庫県北部の温泉地
- 14 鬼は外、〇〇は内
- 15 日本刀の手で握る部分
- 16 すべては忘却の〇〇〇だ
- 17 チョコレートケーキの〇〇〇〇をスマホで調べた
- ヨコの鍵
- 1 節分にまるかぶりします
- 2 働き者のイメージがある昆虫
- 3 羽根つきに使う道具
- 4 保育園の〇〇〇〇に手編みの帽子を出品した
- 6 張り上げたりひそめたり
- 9 強い風に雪が舞います
- 10 作業機をけん引してさまざまな農作業をこなします
- 11 金太郎が担いでいるもの
- 13 ドアをコン、コン
- 14 魚へんに付と書く魚
- 16 寒いところやすくなる人もいます

読者プレゼント

応募〆切 2月10日(火)必着

QUOカード
500円分 30名様

【パソコン・スマホから応募】

下記アドレスに答えと住所・氏名・年齢・電話番号と本誌の感想や要望などを書いてお送りください。

メールアドレス

jawkayamacrossword@gmail.com

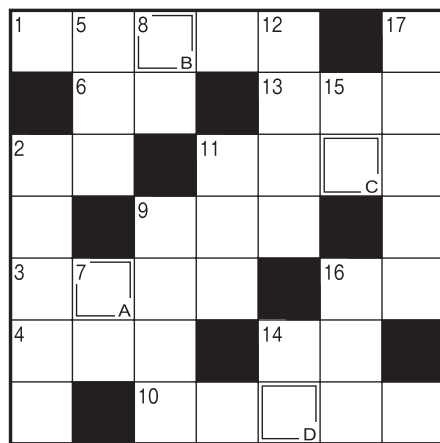
右の二次元バーコードからも
応募できます

感想の一部を本誌で紹介することがありますので、お名前の掲載を希望されない方はハガキ、メール、メールフォームに「匿名希望」とお書きください。

【ハガキでの応募】

ハガキ表面→
ハガキ裏面↓

- ①クロスワードの
答え
- ②住所・氏名・年
齢・電話番号
- ③本誌の感想や
特集してほしい
コーナーなど

〒640-8331
和歌山市美園町5丁目1の1
JAWAKAYAMA
広報係

答え

A B C D

前回の答え

サンガニチ

「わかやま映え」のコスモスパークの写真がとても綺麗で感動しました。夕日をあそそまで綺麗に撮れたら嬉しいですね。

(日高川町・石田創さん)

みかん大使の華やかな表紙がステキでした。みかんのシーズン到来！農家さんはもちろん、それを支えている皆様、お疲れ様です。お身体を大切に。

(有田市・石井さゆりさん)

「家族で楽しむおいしい一皿」の「ピュンロー」は、ちょうど家に白菜があったので早速作りました。簡単にできて、野菜たっぷり、美味しく頂きました。

(紀の川市・Tさん)

若い跡継ぎが頑張っている記事を読んで、頼もしく思いました。がんばれ後継者！

(若田市・湯峯昌美さん)

「わかやま、そのままフェス」に参加させて頂きました。その様子が1月号載っており、楽しい雰囲気がよく伝わってきました。

(和歌山市・垣内章さん)

皆さまからのひとことをご紹介します。
12月は444通のおたよりをいただきました。ありがとうございます！

「わかやま映え」のコーナーに投稿も始めました。なかなかハードル高いですが、諦めず根気強く頑張ります。

(有田川町・和田啓次郎さん)

1月号は、午年生まれの方などいつもとは違う特別企画で、楽しく読ませていただきました。

(串本町・中村強さん)

1月号のクロスワードにお正月用語がいくつか出てきていたの、もうすぐお正月なんだと実感しました。

(上富田町・山本愛実さん)

和歌山の農業を体験する「ココワカ。ファミリ」の企画がとても素敵で、これからも楽しみです。

(田辺市・宮下厚子さん)

和歌山県関連の幅広いイベント情報が見られて、毎月楽しみにしています。有田みかん大使、みんなかわいいですね。PR頑張ってもらいたいです。

(御坊市・Kさん)

若手の農家さんがたくさん活躍されているのを見て、応援したいなあという気持ちになりました。和歌山県産の果物や野菜を選んで買うことがうれしかったです。

(田辺市・寒川真美子さん)

水瓶座
1/20~2/18

全体運 勢いのあるとき。悩んでいたことにも挑戦してみましょう。ただし自分の意見を通したらフォローも忘れずに

健康運 元気いっぱいに過ごせますが、安全対策は念入りに

幸運の食べ物 ハッサク

家族で楽しむ おいしい一皿

一年の健康を願う節分に
手軽に食べられる栄養レシピ

キンパ (韓国風太巻き)



寒い季節に取りたい
栄養が豊富な
野菜の出番です

材料・2本/2人分

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> ご飯 …… 350g
<input type="checkbox"/> ごま油 …… 小さじ1
<input type="checkbox"/> 塩 …… 2つまみ
<input type="checkbox"/> 牛肉(切り落とし) …… 150g
<input type="checkbox"/> しょうゆ …… 大さじ2
<input type="checkbox"/> 酒 …… 大さじ1
<input type="checkbox"/> ごま油 …… 大さじ1/2
<input type="checkbox"/> コチュジャン …… 小さじ1
<input type="checkbox"/> 砂糖 …… 小さじ1
<input type="checkbox"/> ニンニク(すり下ろし) 1/2片 | <input type="checkbox"/> ホウレンソウ …… 1束
<input type="checkbox"/> しょうゆ …… 小さじ1
<input type="checkbox"/> ごま油 …… 小さじ1
<input type="checkbox"/> たくあん …… 50g
<input type="checkbox"/> ごま油 …… 少々
<input type="checkbox"/> 酒 …… 小さじ1
<input type="checkbox"/> のり(全形) …… 2枚 |
|---|---|

作り方

- ① ご飯にごま油と塩を入れて混ぜ、冷ましておく。牛肉にAをもみ込み下味を付け、フライパンで軽く炒めて冷ましておく。ホウレンソウは塩少々(分量外)を入れた湯でさっとゆでて水気を絞り、食べやすい長さに切ってしょうゆとごま油をもみ込み下味を付けておく。
- ② スライスしたたくあんを5mmの細切りにしてフライパンに入れ、ごま油・酒を加えて軽く炒めて冷ましておく。
- ③ のり1枚を巻きすの上に置き、ご飯の1/2量をごく薄く延ばす。奥側は2cmほど空けておく。真ん中よりも少し手前に具材を並べ、具材を押さえながら巻く。巻き終わりを下にして置き、なじませる。これを2本作る。
- ④ ぬれた布巾で包丁を拭きながら好みの大きさに切って出来上がり。

アレンジ

- ニンジンのナムルや卵焼きなどを入れて彩りや食感をアップ
- 牛肉やナムルを多めに作ってピビンバに

point!

ホウレンソウにはビタミンAや冬に不足しがちなビタミンDが含まれ、油で調理すると吸収率が上がります。牛肉にはしっかりと下味を付けましょう。

レシピ提供●料理研究家 和田麻紀子



Person on the cover introduce

表紙の紹介

楠本さん御一家(新宮市)

【左より】

- | | |
|---------------|---------------|
| 楠本 日出子さん(64歳) | 楠本 徠ちゃん(3歳) |
| 楠本 通明さん(66歳) | 楠本 由衣さん(31歳) |
| | 楠本 健太郎さん(38歳) |

Q お仕事は何をされていますか？

A 「楠本明石材店」を営んでおり、石材・墓石の加工や販売をしています。

Q 休日の楽しみは？

A 【通明さん】息子夫婦と家でバーベキューをするのが楽しいです。釣りも好きで、息子とよく行きます。昔、バンドを組んでいて、地域で最高の観客動員数を集めたこともあり、今も時々ライブに呼ばれて演奏しています。【健太郎さん】ライブには家族で見に行きます。娘の徠はそれを聴いて楽しそうに踊るんですよ。

Q 徠ちゃんの名前の由来は？

A 【健太郎さん】男女関係なくどんな人からも好かれてほしい、たくさんの人が寄ってきてほしいという意味を込めました。この名前の通りに成長してほしいですね。

Q ご両親ととても仲が良いですね。将来ご家族で実現したいことは？

A 【健太郎さん】いつかみんなで海外旅行に行きたいです！



楠本通明さんが制作した歌碑
(丹鶴ホール)
撮影場所／新宮市





JAの建物
更生共済は

皆さまに合わせた カスタマイズが可能です!

建物更生共済

むてきプラス

毎年の共済掛金の安さ☐と将来
受け取る満期共済金の充実☐の
どちらを優先されますか?



保障金額と満期共済金額のバランスを変更
することで、皆さまのご要望に合わせたカス
タマイズをすることが可能です。

また、継続特約を付加することで共済期間の
カスタマイズも可能です。

今回お支払いする満期共済金を
次のご契約の共済掛金に
活用されますか?☐



今回お支払いする満期共済金を活用するカス
タマイズが可能です。

満期共済金を活用し前納(掛金の前払い)することで、毎
年の共済掛金を抑えることが可能です。また、もしご契約
者さまに万一のことがあった際、建物を相続され、契約を
引き継がれた方の掛金負担を軽減することが可能です。



POINT ①

自然災害に
強い保障



POINT ②

満期共済金が
受け取れる



POINT ③

ケガにも
備えられる



POINT ④

当面の生活に必要な費用
(臨時費用)が支払われる



※自然災害の場合は風災・ひょう災・
雪災・水災に限ります。

建物や家財・家具への備えは、いつでも私たちにお任せください!

皆さまのご要望に合わせた最適な保障をご提案させていただきます。



簡単なアンケートに答えるだけで

豪華賞品が
当たるチャンス!



応募はこちら▲

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。
また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

詳しい情報はホームページをご覧ください

JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>

詳しくは、お近くの店舗まで
お問い合わせください。

25301100251

わかやま地域本部 TEL073-471-3731
〒640-8305 和歌山県和歌山市栗栖642

ながみね地域本部 TEL073-482-6131
〒642-0022 海南市大野中718-1

紀の里地域本部 TEL0736-77-7801
〒649-6494 紀の川市上野12-5

紀北地域本部 TEL0736-42-3000
〒649-7203 橋本市高野口町名古曾922-2

ありだ地域本部 TEL0737-53-2311
〒643-0032 有田郡有田町天満47-1

紀州地域本部 TEL0738-22-2480
〒649-1534 日高郡印南町印南2003

紀南地域本部 TEL0739-23-3450
〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘24-17

みくまの地域本部 TEL0735-52-0793
〒649-5331 東牟婁郡那智勝浦町天満122